

同時発表

岡山県総社市、島根県益田市、山口県山口市、岡山県井原市、広島県三原市、山口県防府市、むさしの・ガーデン紀行連絡協議会



令和2年10月2日
都 市 局
公園緑地・景観課

開放的な美しい庭園が織りなす癒しの時間を。

-日本ガーデンツーリズム-

～庭園間交流連携促進計画 新たに2計画の登録を決定～

国土交通省では、地域の活性化と庭園文化の普及を図るため、庭園間交流連携促進計画登録制度(ガーデンツーリズム登録制度)を創設し、庭園や公園が連携し、地域の魅力向上を図る取組を推進しています。有識者による審査を経て、第三回として「雪舟回廊(広島県三原市、島根県益田市、岡山県総社市、井原市、山口県山口市、防府市)」と「むさしの・ガーデン紀行(東京都武蔵野市、三鷹市、調布市、小金井市、府中市、国分寺市)」の2つの計画を決定しました。

登録証交付式は10月17日(土)に第37回全国都市緑化ひろしまフェア(ひろしま はなのわ 2020)のシンポジウム内で開催し、登録証を交付します。今回の登録により、登録計画数は10計画となります。(別紙1、2参照)

【今回新たに登録されるガーデンツーリズム計画】

雪舟回廊

「伝雪舟作の庭園」、「絵画作品を鑑賞できる空間」、「雪舟ゆかりの地」の3つの視点から雪舟が見たであろう風景や雪舟の世界観を追体験できるツーリズム



萬福寺庭園(島根県益田市)

むさしの・ガーデン紀行

国分寺崖線(ハケ)と玉川上水が緑のベルトを形成する「水と緑と歴史の回廊」。大都会東京の癒しのスポット、オアシス的空間を体験できるツーリズム



野川公園(東京都三鷹市、調布市、小金井市)

【登録証交付式】

1. 日時 令和2年10月17日(土)16:20～16:50
2. 場所 広島市南区民文化センターホール (広島市南区比治山本町16-27)
(第37回全国都市緑化ひろしまフェア 都市緑化シンポジウム内で実施)

*取材及び撮影が可能ですので、取材希望の方は、下記【問い合わせ先】宛てFAX又は電話にて、会社名、氏名、連絡先(電話番号又はメールアドレス)の登録をお願いします(10月14日(水)12時まで)。

<問い合わせ先>

都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室 小酒井、大原

TEL:03-5253-8111[32989、32963] 03-5253-8420(直通) FAX:03-5253-1593

ガーデンツーリズム登録制度 登録された計画の一覧

	都道府県名	登録計画名	登録団体名
第3回 R2.10.17 予定	岡山県・広島県 島根県・山口県	雪舟回廊	雪舟回廊協議会
	東京都	むさしの・ガーデン紀行	むさしの・ガーデン紀行連絡協議会
第2回 (R1.10.7)	茨城県	いばらきガーデン&オーチャードツーリズム	茨城県公園間交流連携促進協議会
	神奈川県	湘南邸園文化ツーリズム	湘南邸園文化祭連絡協議会
第1回 (R1.5.30)	北海道	北海道ガーデン街道	北海道ガーデン街道協議会
	神奈川県	ガーデンネックレス横浜	ガーデンネックレス横浜 実行委員会
	神奈川県・静岡県	富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム	富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム協議会
	新潟県	にいがた庭園街道	にいがた庭園街道ネットワーク
	静岡県	アメイジングガーデン・浜名湖	浜名湖ガーデンツーリズム 推進会議
	宮崎県	宮崎花旅365	花ボラネットみやざき協議会

雪舟回廊

雪舟回廊協議会



萬福寺庭園(島根県益田市)

むさしの・ガーデン紀行

むさしの・ガーデン紀行連絡協議会



都立野川公園(東京都三鷹市、調布市、小金井市)

ストーリー・将来のビジョン

テーマ:「雪舟の作品に出会うことができる旅」

ストーリー:①雪舟が理想とする景観を実際の大地に表現した**“伝雪舟作の庭園”**②雪舟が描いた**“絵画作品を鑑賞”**できる施設や空間③雪舟が絵画作品を描く際や庭園を作庭する際、参考としたとの伝承が残る景勝地や生誕地や没地といった**“雪舟ゆかりの地”**

の3つの視点から雪舟が見たであろう**風景や雪舟の世界観を追体験**するもの。

将来のビジョン:地域の賑わいや交流の創出を図り、魅力的なまち・地域づくりにつなげます。

取り組み概要

取組主体:「雪舟回廊」協議会

構成団体:雪舟サミット構成6自治体(上記参照)

活動の経緯:雪舟サミットの観光・交流部門における具体的な取り組みとして位置づけ、スタート

取組概要:サミットを中心とし、自治体間で広域観光周遊の取り組みを実施。以下、直近のサミット開催予定。

令和2年度 総社市 雪舟生誕600年記念
令和3年度 山口市(予定)

※以降、隔年開催

～雪舟サミットとは～

平成2年、岡山県総社市の呼びかけのもと雪舟ゆかりの地の自治体が集い、「画僧雪舟の顕彰及び自治体相互の交流と親睦を図るとともに、雪舟を一つの柱としたまちづくり」を目指す。(参考<http://sessusummit.jp/>)



常栄寺庭園(山口市)

構成庭園

①井山宝福寺(岡山県総社市) 約 13,800㎡ 民間)

小僧の頃の雪舟の絵の才能を伝える有名な伝承、「流した涙で足の指を使ってネズミの絵を描いた」という逸話の舞台。

②御許山佛通寺(広島県三原市) 約 100㎡ 民間)

雪舟作庭伝承の残る庭園。江戸時代に改修されたと伝わる。

③常栄寺庭園(山口県山口市) 約 42,888㎡ 民間)

雪舟作庭伝承の残る文化財庭園。雪舟が山口に滞在していた際に、守護大名大内氏によって作庭を命じられたものと伝わる。

④萬福寺庭園(島根県益田市) 約 1,419㎡ 民間)

雪舟作庭伝承の残る文化財庭園。雪舟が晩年、益田に滞在し、「益田兼堯像」を制作していた際に作庭されたと伝わる。

⑤医光寺庭園(島根県益田市) 約 2,197㎡ 民間)

雪舟作庭伝承の残る文化財庭園。雪舟が晩年、益田に滞在し、医光寺の前身・崇観寺の住職であった際に作庭されたと伝わる。

⑥常德寺庭園(山口県山口市) 約 2,000㎡ 民間・公共)

雪舟作庭伝承の残る文化財庭園。江戸時代の地誌『防長風土注進案』に雪舟作庭との伝承が記されている。

⑦大内氏館跡枯山水庭園(山口県山口市) 約 200㎡ 公共)

⑧大内氏館跡池泉庭園(山口県山口市) 約 3,320㎡ 公共)

雪舟と同時代の庭園。本庭園と雪舟作庭伝承の残る庭園を比較することで、配石や立石の手法が独特といわれる伝雪舟作庭園の魅力をより深く理解することができる。

⑨毛利博物館・毛利氏庭園(山口県防府市)

約 83,957.13㎡ 民間)

雪舟山水画の最高傑作とされる国宝の「四季山水図(山水長巻)」を鑑賞できる施設。

※③④⑤は国指定史跡及び名勝、⑥は国指定名勝

対象地域

雪舟回廊 全体位置図



①井山宝福寺



②御許山佛通寺



③常栄寺庭園



④萬福寺庭園



⑤医光寺庭園



⑥常徳寺庭園



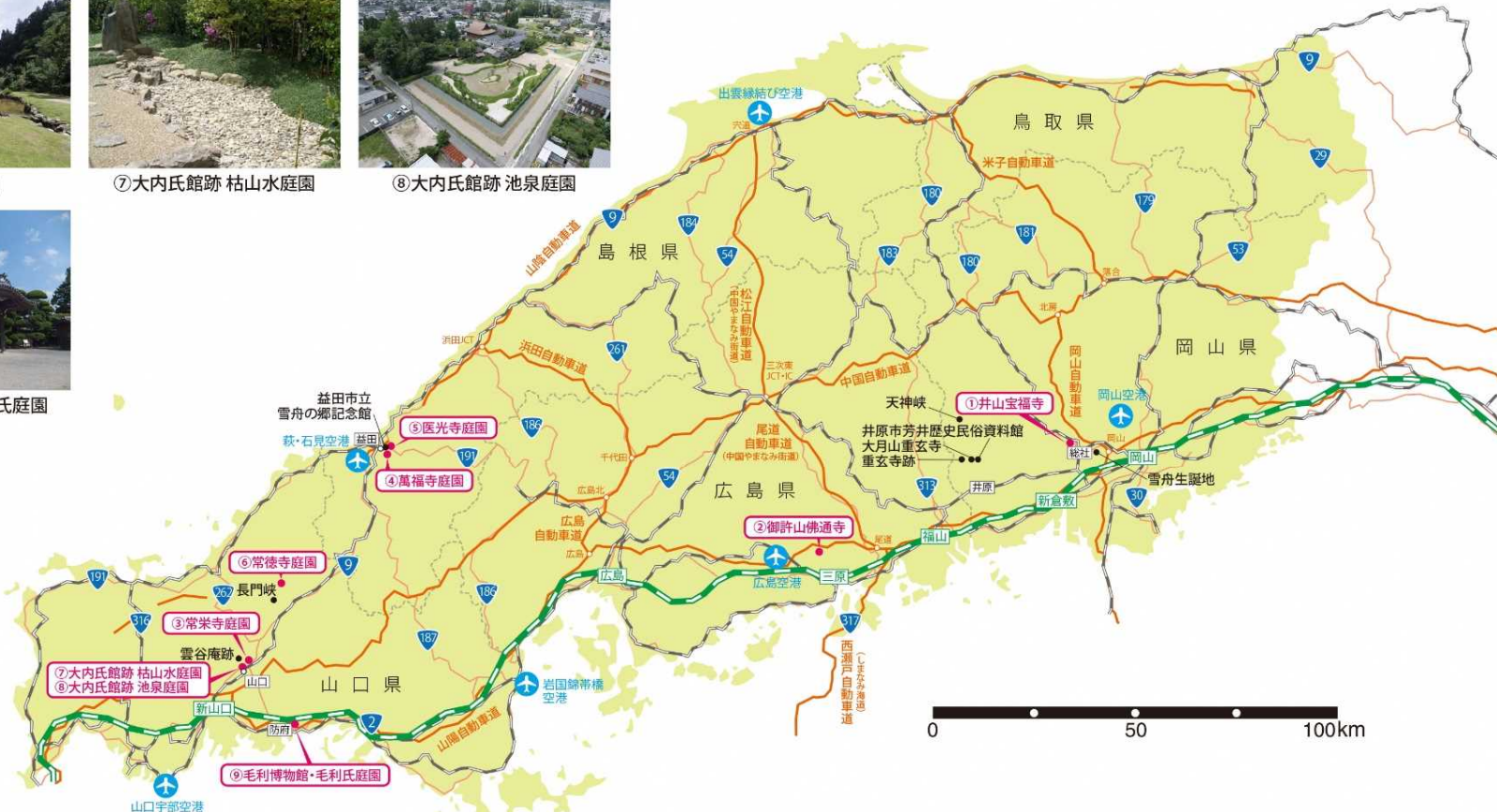
⑦大内氏館跡 枯山水庭園



⑧大内氏館跡 池泉庭園



⑨毛利博物館・毛利氏庭園



ストーリー・将来のビジョン

「むさしの」の歴史は古く、旧石器・縄文にはじまり、古代武蔵国、中世、近現代とつながる悠久の時間が流れている。**国分寺崖線（ハケ）と玉川上水が緑のベルトを形成するこの地は、大都会東京に残された貴重な癒やしのスポットであり、憩いの場**となっている。過去約8年間実施してきた「森の地図スタンプラリー」は、この地域の庭園や公園、文化的施設などをつなげ**「水と緑と歴史の回廊」**をゆったりと散策・回遊するイベントとして親しまれてきた。今後は、「ガーデンツーリズム制度」登録を軸として、地域連携の絆をより高め、**「地域全体をひとつのガーデン」**としてとらえ、**東京の真ん中にあるオアシス的空間の創出と認知度向上を図っていききたい。**

取り組み概要

取組主体：むさしの・ガーデン紀行連絡協議会

構成団体：①都立庭園や公園の指定管理者②民間施設の管理者③関係各市の観光協会④地域の活動団体等

活動実績：2012年より自治体の枠を超えた広域回遊イベント「森の地図スタンプラリー」を春秋の年2回（各50日間程度）実施。開催ごとにテーマを変え、地域のカフェなどの店舗や大学等を巻き込みながら展開。関連のガイドツアーやMAP制作、セミナー、マルシェなども並行実施している

今後の取組み：モデル周遊コースの策定とガイドツアー、回遊促進アプリやクーポンの導入など

構成庭園

◆国分寺崖線（ハケ）と玉川上水でつながる施設群◆

- ①都立武蔵国分寺公園【公共】 11.5ha
- ②都立殿ヶ谷戸庭園【公共】 1.8ha
- ③滄浪泉園(小金井市)【公共】 1.2ha
- ④小金井市立はげの森美術館【公共】 0.2ha
- ⑤都立浅間山公園【公共】 8.8ha
- ⑥都立武蔵野公園【公共】 25.6ha
- ⑦都立野川公園・自然観察園【公共】 40.3ha
- ⑧都立武蔵野の森公園【公共】 38.6ha
- ⑨三鷹市大沢の里水車経営農家・古民家【公共】 総面積
(大沢の里公園) 0.8ha
- ⑩都立神代植物公園【公共】 49.0ha
- ⑪深大寺【民間】 5.7ha
- ⑫調布市野草園（深大寺自然広場）【公共】 3.6ha
- ⑬調布市武者小路実篤記念館・実篤公園【公共】
総面積：0.6ha
- ⑭三鷹市立山本有三記念館・庭園【公共】 0.4ha
- ⑮都立井の頭恩賜公園【公共】 42.8ha
- ⑯井の頭自然文化園【公共】 11.6ha
- ⑰都立玉川上水緑道【公共】 13.7ha
- ⑱浴恩館公園(小金井市文化財センター)【公共】 1.4ha
- ⑲都立小金井公園
【公共】 80.2ha
- ⑳江戸東京たてもの園
【公共】 約7ha



対象地域



① 都立武蔵国分寺公園



② 都立殿ヶ谷戸庭園



③ 滄浪泉園 (小金井市)



④ はげの森美術館・美術の森



⑤ 都立浅間山公園



⑥ 都立武蔵野公園



⑦ 都立野川公園・自然観察園



⑧ 都立武蔵野の森公園



⑨ 大沢の里水車経営農家・古民家



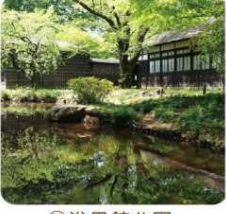
⑩ 都立神代植物公園



⑳ 江戸東京たてもの園



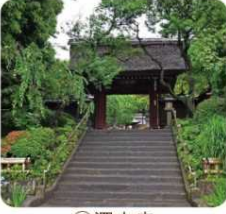
⑲ 都立小金井公園



⑱ 浴恩館公園



⑰ 都立玉川上水緑道 (公園)



⑪ 深大寺



⑫ 調布市野草園 (深大寺自然広場)



⑬ 調布市武者小路実篤公園・記念館



⑭ 三鷹市立山本有三記念館



⑮ 都立井の頭恩賜公園



⑯ 井の頭自然文化園



JAPAN GARDEN TOURISM

これまでに登録された計画（令和2年4月時点：8計画）

北海道ガーデン街道

北海道旭川市、富良野市、帯広市ほか



ガーデンネックレス横浜

神奈川県横浜市



富士・箱根・伊豆

「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム

神奈川県箱根町、静岡県沼津市、三島市ほか



にいがた庭園街道

新潟県新潟市、村上市、新発田市ほか



アメイジングガーデン・浜名湖

静岡県浜松市、湖西市、袋井市、掛川市



宮崎花旅365

宮崎県宮崎市



いばらきガーデン&オーチャードツーリズム

茨城県水戸市、ひたちなか市、笠間市ほか



湘南邸園文化ツーリズム

神奈川県小田原市、茅ヶ崎市、大磯町ほか



花と緑が魅せるひろしまの未来

原子爆弾投下後の惨状から「75年間は草木も生えぬ」と言われたヒロシマは、先人たちの努力によって緑豊かに復興し、令和2年(2020年)、被爆75年の節目の年を迎えました。広島の花と緑が豊かであることの意味を再認識するとともに、これからの私たちの花と緑のライフスタイルがつくる“ひろしまの未来”について、みんなで考えましょう。

開催
日時

令和2年10月17日(土)
【開場】12:00 / 【開演】13:00

会場

広島市南区民文化センター ホール
広島市南区比治山本町16-27(広島産業文化センター2F)

参加無料

定員250名 | 事前申込制(先着順)
※裏面をご確認ください



オンライン配信(ライブ)します!!

視聴には、ひろしまはなのわ 2020 公式ホームページよりお入りください

▶ <https://hananowa2020.com/>



実施
内容

13:00~13:05 開会

13:05~13:35 テーマアトラクション
絵おと芝居「ヒロシマ緑の輪物語」

13:35~14:35 基調講演
「被爆75年 そしてコロナ禍後の社会的大変容を見据え
花、緑の環境を考える」
涌井 史郎氏(東京都市大学環境学部 特別教授)



涌井 史郎氏

14:45~16:15 パネルディスカッション
「花と緑が魅せるひろしまの未来」

コーディネーター：
涌井 史郎氏

パネリスト：
五十嵐 康之氏(国土交通省都市局公園緑地・景観課長)
勝丸 恭子氏(気象予報士)
宇山 穂氏(エキキタまちづくり会議事務局)
青木 晋氏(株式会社LAT 環境クリエイト 環境設計部部長)



五十嵐 康之氏



勝丸 恭子氏



宇山 穂氏



青木 晋氏

16:20~16:50 ガーデンツーリズム登録証交付式(国土交通省)
※登録団体のプレゼンテーション等が行われます



主催

基調講演講師プロフィール

基調講演・パネルディスカッションコーディネーター

涌井 史郎氏 造園家。東京都市大学・特別教授。

平成15年日本国際博覧会(愛・地球博)会場演出総合プロデューサー。これまでハウステンボス、多摩田園都市・二子玉川ライズなどのランドスケープ計画、過疎中山間地域や水源地等の活性化対策など、都市から過疎農山村に至るまで都市と自然の関わりについて取り組み、数多く作品を残している。また首都高速大規模更新検討委員会や国立公園満喫プロジェクト・新国立競技場等の国における委員会の委員長・委員や地方公共団体の審議会委員長などを務めている。日本造園学会賞(1993)、日本造園学会「上原敬二賞」(2017)、土木学会賞、国土交通省大臣賞(2001)、黄綬褒章(2005)、仙台市特別市政功労者賞(2017)、などを受賞。

テーマアトラクション

絵おと芝居「ヒロシマ緑の輪物語」

制作：一般社団法人まち物語制作委員会

「75年間は草木も生えぬ」と言われた広島
のまちが緑豊かなまちへと復興するきっかけとなった『供木運動』を題材に、プロの紙芝居作家いくまさ鉄平氏が竹屋小学校の児童が描く絵をもとに紙芝居を作成。それを元に当日は絵おと芝居を上演します。
※絵おと芝居：紙芝居と生演奏を融合させた形の新しい舞台パフォーマンス



都市緑化シンポジウムへのお申込み

参加を希望される方は、以下いずれかの方法で**9月25日(金)まで**にお申し込みください。
事務局より入場整理券をお送りします。【先着順】

※ご来場にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用の上、検温及びアルコール消毒にご協力をお願いします。
※発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状のある方、過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方、過去2週間以内に感染拡大している地域や国への訪問歴がある方は参加を御遠慮ください。また、持病のある方や妊婦など、健康や体調に不安のある方は参加をお控えください。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により集客が困難となった場合には、オンライン配信のみの開催となる可能性があります。

ホームページ

ひろしま はなのわ 2020公式ホームページ内の都市緑化シンポジウム申込フォームに必要事項を入力の上、お申し込みください。
<https://hananowa2020.com/news/2020/08/5864/>



はがき

はがきに「都市緑化シンポジウムin広島希望」とご記入の上、
①氏名 ②住所 ③電話番号 ④メールアドレスを記入の上、
下記事務局まで送付ください。

第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会事務局
〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル9階

FAX

下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

▼都市緑化シンポジウム in 広島 参加申込書

FAX:082-512-2319

氏名	住所	連絡先
フリガナ	〒	TEL E-mail
フリガナ	〒	TEL E-mail
フリガナ	〒	TEL E-mail
フリガナ	〒	TEL E-mail

※取得した個人情報は、都市緑化シンポジウムに関するご連絡に使用させていただきます。

第37回全国都市緑化ひろしまフェア ひろしま はなのわ 2020

3/19(木)-11/23(月・祝)

メイン会場

中央公園 (旧広島市民球場跡地を中心とする区域)及びその周辺

現在、集中展開期間(3/19(木)～5/24(日))が終了し、
11/23(月・祝)まで他会場の案内や観光・
市町情報を提供、連携イベントを開催しています。

協賛会場

国営備北丘陵公園 県立びんご運動公園
県立せら県民公園 県立みよし公園

開催期間:3/19(木)～11/23(月・祝)

スポットイベント会場

県内23市町の
スポットイベント会場

開催期間:2020年に開催する
各スポットイベントの実施期間

第37回全国都市緑化ひろしまフェア

都市緑化シンポジウム

in 世羅

テーマ **自然を活かした持続可能な地域づくり**
～豊かな里山のシンボル“ヒョウモンモドキ”を例として～

日時:令和2年9月19日(土)13:00～16:10【申込締切:9月4日(金)】
会場:世羅町甲山農村環境改善センター 多目的ホール

第37回全国都市緑化ひろしまフェア

都市緑化シンポジウム

in 庄原

テーマ **花の持つ力**
～「花と緑のまちづくり」の魅力と可能性～

日時:令和2年9月27日(日)13:00～15:50【申込締切:9月11日(金)】
会場:国営備北丘陵公園 里山の駅庄原ふらり湖畔広場

都市緑化シンポジウムについての
お問い合わせ

第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会事務局催事出展課

TEL:082-512-2315/FAX:082-512-2319/E-mail:hiroshima@hananowa2020.jp

■ ガーデンツーリズム登録制度の概要

- 日本には、日本庭園や花の公園など、地域ならではの特徴を持つ多様な庭園が存在し、観光客に人気を博していますが、その魅力を十分に伝え切れていない「隠れた庭園・花の名園」も数多くあります。
- 国土交通省は、地域の活性化と庭園文化の普及を図るため、各地域の複数の庭園の連携により、魅力的な体験や交流を創出する取組をガーデンツーリズムとして、その計画を登録し、支援する制度を創設しました。

目的	複数の官民庭園の連携による魅力的な体験や交流を創出する取組を促し、もって地域の活性化と庭園文化の普及を図ること
制度名称	庭園間交流連携促進計画登録制度(ガーデンツーリズム登録制度)
登録対象	庭園間交流連携促進計画(ガーデンツーリズム計画) ⇒ 地域固有のテーマに基づき、複数の庭園が連携して実施する取組を定めた計画
計画の内容	1. 計画の名称 2. 計画のテーマ及び将来像(ビジョン) 3. 計画を構成する庭園等 4. 実施する事業 5. 協議会の構成員及び事業実施体制

■ 庭園間交流連携促進計画審査会委員

(敬称略 五十音順 ◎は委員長)

倉重 祐二	新潟県立植物園 園長
小林 茂	株式会社 JTB パブリッシング海外情報事業部副事業部長
須磨 佳津江	フリーアナウンサー (元 NHK アナウンサー)
田中 伸彦	東海大学観光学部観光学科 教授
八木 波奈子	有限会社ビズ出版 代表取締役
涌井 史郎 (◎)	東京都市大学 特別教授

■ これまでの経緯

平成31年 4月 11日	登録制度要綱の公表、記者発表
令和元年 5月 30日	第1回登録、登録証交付式
令和元年 10月 7日	第2回登録、登録証交付式

■ 登録計画の公表

・登録計画は、国土交通省HP(<http://www.mlit.go.jp/toshi/park/>)に掲載します。

